



インスピレーションになろう

和歌山東 R.C. 創立60周年・

是々非々と原点回帰

2019年4月25日(木)
週報 / VOL.60 No.35
(通巻2851)

2018-2019年度
和歌山東ロータリーの
テーマ

BE THE
INSPIRATION

2018-2019年度 国際ロータリーのテーマ

国際ロータリー第2640地区

和歌山東ロータリークラブ

URL: <http://www.werc.jp> E-mail: info@werc.jp

会長報告

吉田 篤生 会長



みなさんこんにちは

早いもので今期の例会も、本日を含めてあと9回となりました。残り少なくなりましたが、よろしくお祈りします。

先週の土曜日(13日)に乾幹事と一緒に、和歌山北ロータリークラブの40周年式典に出席してきました。和歌山東ロータリークラブがスポンサークラブと言うことで、私も祝辞をさせて頂きました。

親クラブの会長ということになるのですが、北クラブの面々は私より年配の方が多くおられるので、私は子供とまではいいませんが、弟が兄貴に語るような気分で祝辞を述べさせて頂きました。

今週はI.M.で、次年度ホストクラブ会長としてあいさつさせて頂きます。

行事が続いてなかなか気が抜けないのですが、上手く次年度に繋がるよう頑張りますので、みなさんもご協力よろしくお祈りいたします。

幹事報告

乾 敦雄 幹事



新会員 瀬藤啓司さんの歓迎会を5月16日(木)に開催しますので大勢のご出席をお願いします。

場所は後日お知らせします。



お誕生日お祝い



中山 恒夫さん(72才)

お祝いしていただきありがとうございます。今年は年男ですので、節分に紀三井寺で豆まきをしました。今後共よろしくお祈りします。

おめでとうございます

和歌山北ロータリークラブ創立40周年記念式典

2019年4月13日(土) グランヴィア和歌山にて

祝辞 和歌山東ロータリークラブ 会長 吉田 篤生

本年度和歌山東ロータリークラブの会長を仰せつかっております吉田です。スポンサークラブの和歌山東ロータリークラブを代表してお祝いの言葉を述べさせていただきます。

和歌山北ロータリークラブ様、創立40周年誠におめでとうございます。

私共の和歌山東ロータリークラブには、40年前の和歌山北ロータリークラブ発足に関わった会員は数えるほどになり、当時を知るのは2名だけです。

今こそ和歌山市内の9ロータリークラブは和歌山市全域を共有の区域としていますが、当時は各クラブの間にテリトリーの問題などがあり非常に産みの苦しみがあつたと聞いております。その中で創立メンバー30名を確保できたことが、本当に嬉しい思い出であったと当時を知る会員は語ってくれました。

親子クラブということで、和歌山北ロータリークラブ様とは毎年合同例会をさせていただいているのですが、この10年位の間に私たちのクラブが大きく世代交代したこともあり、私より世代の上の方が多く和歌山北ロータリークラブの皆様は、私にとっては子クラブと言うより頼もしい兄貴分という風に思っています。

“四十にして惑わず”という論語の言葉通り40周年を迎えて、知識も経験も豊富でしっかりと軸足の座った非常に頼もしいクラブ、それが和歌山北ロータリークラブだと思います。

今年、有田会長は「奉仕第一、親睦第二」というクラブテーマを掲げられました。

そのクラブテーマのもと、40周年記念事業として姉妹クラブである

韓国の東済州ロータリークラブ様と共同で国際奉仕共同事業として和歌山市消防局に防災グッズ一式を寄贈されました。また社会奉仕・国際奉仕継続事業として1985年より35年間に渡り和歌山刑務所に書籍や生活用品の寄贈を続けられ、今年は書籍・音楽CDを寄贈されておられます。

国内に置かれましては、水戸東ロータリークラブ様と友好クラブとなられ、相互に交流されていると伺っています。

社会奉仕・国際奉仕・国際親善・そして親睦と、非常にバランスよくロータリー活動に取り組まれている姿は、素直に見習わせて頂きたい、そう感じる次第であります。

これからも良き友、良きライバルとして、お互い切磋琢磨して活動を続けていきたい。そう思います。

もちろん我々だけでなく、今日ここにおられる和歌山市内各ロータリークラブの皆様、東済州ロータリークラブの皆様、水戸東ロータリークラブの皆様、皆で頑張ってロータリー活動を続けて行きましょう。

和歌山北ロータリークラブの益々のご発展と会員皆様の御多幸を祈念して祝辞とさせていただきます。

本日は本当におめでとうございます。



1 真実かどうか

2 みんなに公平か

3 好意と友情を深めるか

4 みんなのためになるかどうか

卓話「負資産時代」

プログラム委員会 委員長 片岡 聖佳さん



最近大学での私が担当する講義や課題が「所有者不明化の土地」となっており、その原因の一つが、不動産の無価値化となっています。

人口は増え、不動産は価値を持ち続けるという「土地神話」を前提とした日本の土地制度が曲がり角を迎えています。

地方や都市郊外を中心に、資産価値を失って処分には困る「負資産」が広がる中、国も対策に乗り出しているものの、課題は山積みです。

1. 土地は捨てられるのか

ものには「動産」と「不動産」があります。不動産とは民法86条第1項で「土地およびその定着物是不動産とする」となっており、第2項で「不動産以外のものはすべて動産とする」となっています。

不動産は動産と違い、要らないからと言って、簡単に処分することができません。これに対し近年、様々な問題が生じてきています。

2. 民法第940条

民法第940条で「相続放棄をした者は、その放棄によって相続人となった者が相続財産の管理を始めることができるまで、自己の財産におけるのと同一の注意をもって、その財産の管理を継続しなければならない」となっています。

相続放棄で管理責任が問題となるのは古い家屋（空き家）です。このような家屋は財産的価値が無いか、むしろ建物取壊し費用が発生してマイナスになってしまうような財産でしょう。

「私は相続放棄したから知らない。」「お金もないし管理もできない」「遠方の家屋を管理することなんてできない」と言いたくなってしまうのも無理ありません。

結局のところ、このような負の財産（負資産）の処理は相続放棄では逃げ切れない現実があります。廃墟で倒壊寸前の空き家を放置して

おくことで近隣に何らかの被害を与えてしまった場合には、管理義務を負う相続人が損害賠償責任を負うことはあります。

3. 所有者のない不動産は、国庫に帰属するのか？

民法第239条には「所有者のない不動産は、国庫に帰属する」との規定があります。ただどんな場合に国庫に帰属するか？という基準はずっとあいまいだったのですが最近「土地は捨てられるか否か」が直接争われた珍しい裁判がありました。

訴えを起こしたのは鳥取県米子市の司法書士・鹿島康裕さん（41）。2014年、島根県安来市の山林約2万3千平方メートルを父親から生前贈与された。その3週間後、鹿島さんは山林の所有権を「放棄する」とし、所有者のいない不動産なので国が引き取るべきだと訴えを起こしました。

結果、裁判には負けますが、その判決理由は、「管理義務の放棄によりその管理義務を国に求めたもので、公序良俗的に認められない。」というようなちょっと論点をずらしたかのような判決でした。

4. 土地を放棄できる国ドイツ「負資産」捨てられない日本

先ほども述べましたが、日本の民法には「所有者のない不動産は、国庫に帰属する」（第239条）との規定がありますが、土地放棄の手続きを定めたルールは存在しません。

ただでも買い手が見つからないような土地を運悪く抱えてしまうと、売れることも捨てることもできず、管理コストや固定資産税の負担だけが残る「負資産化」が日本では進んでしまいます。

一方ドイツでは、土地は捨てることができると法律に明記されているそうです。では土地を捨てられる制度はどう運用されているのでしょうか。

ドイツの民法には「所有者が放棄の意思を土地登記所に表示し、土地登記簿に登録されることによって、放棄することができる」（928条1項）と明記されています。放棄された土地をまず先占する権利は「州に帰属する」（同2項）とも定められています。

✦ にこにこ箱

ありがとうございました

- 山本 進三さん 片岡さん楽しみにしています。
- 亀田 直紀さん 片岡さんがんばれ。
- 角谷 芳伸さん 片岡さん卓話楽しみです。
- 赤井 雅哉さん 片岡さんご苦労様です。途中退席すみません。
- 片岡 聖佳さん 私、卓話がんばりますっ!!
- 加納 研次さん 片岡さん、本日の卓話よろしくお願ひいたします。
- 藤村 孝義さん 片岡さん卓話よろしくお願ひします。
- 北浦 康臣さん 片岡さん、卓話宜しくお願ひします。

- 細川 竜二さん 先日は妻の誕生日にきれいなお花を頂きましてありがとうございました。
- 細川 竜二さん 片岡さん卓話よろしくお願ひします。
- 吉田 篤生さん 片岡さん卓話よろしくお願ひします。
- 乾 敦雄さん 片岡さん卓話よろしくお願ひします。
- 奥村 申二さん 片岡さん卓話楽しみにしています。

（お誕生日お祝い）中山 恒夫さん

本日の累計…31,000円（計13名14件） 【お誕生日お祝い…421,000円 皆出席表彰…30,000円 その他…1,298,803円 累計…1,749,803円】

本日の例会

4月25日(木)

- 卓話「データに見る和歌山の県民性」
和歌山大学 経済学部教授・副学長 足立 基浩さん
- ピアノ演奏 中井 利枝さん
ソナタNo.4「パストラール」(リチャード・クレイダーマン)
ソナタNo.9「小さな星」(リチャード・クレイダーマン)

次回の例会

5月9日(木)

- クラブフォーラム「青少年奉仕」

メーキャップ

(敬称略)

- 4月4日(木)月信編集会議 山本進三
- 4月6日(土)ガバナー補佐会議 山本進三
- 4月13日(土)和歌山北R.C. 40周年記念式典 吉田篤生、乾 敦雄、山本進三
- 4月15日(月)和歌山アゼリアR.C. 内畑瑛造

- 4月20日(土)和歌山市内9R.C. I.M. 吉田篤生、乾 敦雄、赤井雅哉、角谷芳伸、笹島良雄、佐藤義記、瀧川嘉彦、田原久一、村田昌之、山本進三
- 4月21日(日)地区研修・協議会 赤井雅哉、後 亮、角谷芳伸、笹島良雄、佐藤義記、田原久一、藤村孝義、古屋光英、吉田篤生

出席報告

会員数 40名 (内出席規定適用免除会員9名)
加納 研次 出席委員長

4月18日(本 日)	21名/33名	63.6%
4月4日(メーキャップ後)		休会

皆さん、出席してください。